

○水生生物モニタリング調査結果一覧 (いわき市沖M)

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-2	○	○	○	○	○	○

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R2.10.20	08:23	08:35	19.2	19.1	砂	5Y 3/1	貝殻片	42.4	8.5	
M-2 (下層)				08:00		19.6							

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R2.10.20	08:23	8.1	0.7	1.4	7.9	5070	33.06	1.0	2	0.9	N.D. (0.0011)	0.0040	—
M-2 (下層)				08:00	8.1	0.5	1.4	7.4	5170	33.61	0.9	2	0.8	N.D. (0.0011)	0.0024	0.00083

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-2	37.1996°	141.0853°	R2.10.20	08:35	7.8	290	22.1	1.8	1.7	2.771	—	1.1	2.4	93.1	0.9	2.5	0.16	2.0	1.4	25	N.D. (0.13)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-1	久之浜沖	37.1736°	141.0788°	R2.10.20	軟体動物	頭足	十腕形	ヤリイ	<i>Loliolus japonica</i>	ジンドウイカ	60	0.23	未成体	—	—	N.D.	N.D. (0.31)	N.D. (0.29)	—
M-2		37.1996°	141.0853°		脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイ	<i>Pagrus major</i>	マダイ	2	2.1	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	0.84	N.D. (0.34)	0.84	—
M-3		37.2324°	141.0935°		藻類・植物	褐藻	コンブ	コンブ	<i>Eisenia bicyclis</i>	アラメ	—	0.30	—	—	—	N.D.	N.D. (0.26)	N.D. (0.22)	—
M-4	久之浜沿岸	—	—	R2.11.25	軟体動物	腹足	古腹足	ミカイ	<i>Haliotis sp.</i>	アワビ類	3	0.33	成体	—	軟体部	0.86	N.D. (0.37)	0.86	—
				R2.11.18	棘皮動物	ウニ	ホウニ	オバフウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ	5	0.76	成体	—	—	1.7	N.D. (0.48)	1.7	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。